

【ACKグループ 売上高は順調に推移 インフラ保全など軸に】

売上高は順調に推移

インフラ保全など軸に

ACKグループ

ACKグループは26日、東京都内でアナリスト向けに14年9月期の決算説明会を開いた。野崎秀則社長は、15年9月期以降も売上高や本業の伸びを示す営業利益がともに順調に推移していく考えを述べた。

2020年までに連結の売上高を500億円以上、営業利益20億円(対売上高4・0%)以上の達成を目指し、3年後の17年9月期には売上高420億円、営業利益13億円を目標に掲げている。

野崎社長は、売上高および営業利益が今後も増益となる要因をインフラの保全や運営管理業務、東日本大震災以降叫ばれている防災関連事業、地域活性といった同グループの重点化事業が軸になることをあげている。

一方で、増益に結び付けるためには、人材確保も重要なファクターであるとの認識を示し、グループ各社による社員の処遇改善に注力していく考えも示した。

同グループの14年9月期決算によると、受注高は395億5200万円(対前年同期比4・5%増)。売上高が348億4800万円(同6・6%増)、営業利益7億6200万円(同51・6%増)、経常利益8億3200万円(同31・7%増)、当期純利益は5億2900万円(同1・0%増)。

15年9月期通期の見通しは売上高が370億円、営業利益8億6000万円、経常利益7億6000万円、当期純利益は3億3000万円。